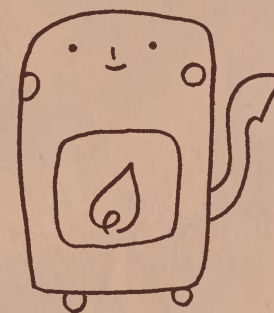
ペレットストーブは

「かぞく」です。

スイッチひとつで簡単に使えるペレットストーブ。ついつい家電製品と同じように考えてしまいますが、ペレットを燃料とする彼らは家族の協力なしでは元気に働くことができません。ときに面倒くさいなぁと感じるお掃除ですが、大切な「かぞく」の一員だと思ってお手入れをしてみませんか。来年もあたたかな冬を届けてもらうために日々のお掃除、おつかれさまのメンテナンスをよろしくお願いします。

お掃除の記録

京都ペレット町家ヒノコ　http://www.hibana.co.jp/kyoto-pellet

ペレットストーブ おそうじガイド

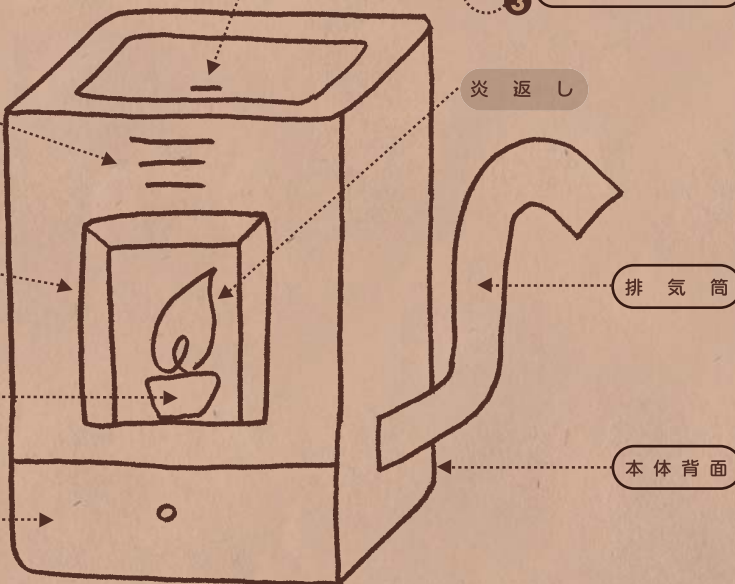
着火前のひと手間やシーズンオフのお手入れは、末永くトラブルなしに使い続けるために欠かせません。頼もしい冬のパートナーであるペレットストーブ。ずっと一緒にあたたかい冬を迎えるためのおそうじガイドです。

※機種によっては掃除の方法が異なる場合もございます。
取扱説明書に従い、詳しくは販売店にお尋ねください。

準備 おそうじ用具をそろえましょう

- ●小ぼうき……………灰を掃き出したり、払ったり。ペイント用のハケも使いやすくておすすめ。
- ●コテ、ワイヤーブラシなど……こびりついた灰をこそげ落とすのに使います。
- ●目打ちなど……………燃焼ポットの穴詰まりにはこれ。
- ●柄付ブラシ……………排気筒掃除の必需品です。

その他、床に敷く新聞紙や灰を入れるバケツ、ぞうきん、掃除機を用意しておきましょう。

家庭用掃除機で大量の灰を吸うと故障の原因になることがあります。また消火直後は掃除機内で引火する恐れがあるのでおやめください。灰が完全に冷めてから掃除をしましょう。

Step 1 日々のケアはこんなかんじ

窓ガラス
炎を楽しむ、燃焼の状態をチェックするなど窓についたすすはいつもきれいにぬぐっておきましょう。毎日のお手入れは水ぶきだけでＯＫ。こびりついた汚れは少量の灰を付けてこするときれいになります。

燃焼ポット
灰やクリンカ※がポットの穴を塞ぐと空気が取り込めず不完全燃焼を起こします。着火前には灰を捨て小ぼうきできれいに掃除しましょう。すこし頑固な塊は目打ちなどでポットの穴から突くと簡単に除けます。
※灰が溶けて固まったサクサクした塊

灰トレイ
たまった灰は適時捨てましょう。機種によっては、灰トレイをきっちり戻さないと空気が入り込んで燃焼に影響することがあるので要注意。

Step 2 １ヶ月に１度はよろしくね

熱交換部
熱交換パイプにすすが付着するタイプの機種は、すす落としノブやハケを使ってすすを落としましょう。すすで覆われると燃焼効率が低下します。

タンク
タンクの底に木の粉がたまるとペレットがスムーズに送り出せなくなります。タンクを空にしてたまっている粉を掃除機で吸い取りましょう。シーズンオフには残ったペレットが湿気の影響で固まると、詰りの原因になります。スクリューを空回しするなどして（機種によってはできないものもあります）タンク、スクリュー内共に空にしておきましょう。

炎返し
燃焼室奥の炎返し（機種によっては上部にもあります）を外して裏側の灰をきれいに落としましょう。すすがたまるとスムーズな燃焼を妨げます。

Step 3 おつかれさまのシーズンオフケア

燃焼室全体
Step２とStep３のおそうじを丁寧に行います。ポットや灰トレイなど外せるものは洗ってきれいにします。こびり付いたすすはコテやワイヤーブラシで落とし、よく乾かしてから戻します。燃焼室内に灰が残っていると湿気を含んで錆びの原因となります。

排気筒
排気筒を外してすすを柄つきブラシなどで掻きだしましょう。本体からすぐの曲がりや横引部分はすすがたまりやすいので念入りに。また、排気トップに鳥や虫が入るのを防ぐためネットなどで覆うことをお勧めします。来シーズンの取忘れに注意！配管外れがないかも確認しましょう。

本体背面
本体背面はたっぷりホコリがたまります。機種によっては側面を開けて掃除できるものもあります。使用しない期間は電源コードを引き抜いておきましょう。